

大雨の影響

去る9月9日～10日の大雨では、栃木・茨城に於いて甚大な被害を経験しました。

県内の小学校でも、冠水、浸水の報告がされておりますが、飼育動物においてもこれから調査が進み、報告が挙がってくると思われませんが、いかほどの被害があったか懸念されています。

現在のところ、県南地区の小学校でクジャク1羽が死亡した報告が挙がっておりますが、被害はこれだけではないと思われま

す。50年に一度の水害ではありましたが、残念な最後を迎えさせない為にも、飼育舎の改修や改造などの方策を取られますことを希望します。



最後まで、健やかに過ごしてほしいです。画像は、内容とは関係ありません。

Topics



動物愛護フェスティバル

先日、宇都宮市で開催された動物愛護フェスティバルは、盛況のうちに終了することができました。

宇都宮動物園から、モルモット、ウサギ、カメ、ミーヤキヤット、フェレットが来てくださり、子供さんたちは楽しい時間を過ごしていました。

心音を聞くことは、どの子供さんにも驚きを持

た体験になったようです。



色々な動物の心音を聞くパネルでも、大人も子供も興味深げに聞き入っていました。

みんなの がっこうのどうぶつ

第15号 2015年10月上旬



印刷はA4横



公益社団法人 栃木県獣医師会
学校飼育動物委員会

〒320-0032 栃木県宇都宮市昭和1-1-23
☎ 0286(22)7793 Fax0286(21)9660

[栃木県獣医師会 学校飼育動物委員会](#)

根拠に基づく動物飼育

飼育に適した動物の条件

歴史的な背景から、以前では、メダカやコイなどの魚類、ニワトリ、インコなどの鳥類が多く飼育されていました。

近年では、ウサギやモルモットを中心とした哺乳類の飼育が多くなっています。

学校での動物飼育の目的に合っているとされる動物の条件として、

- ◆ 直接触ったり抱けること
- ◆ 触ったり抱いて暖かいと感じられること
- ◆ 寿命が短すぎたり長すぎないこと
- ◆ 個体の識別がしやすいこと
- ◆ ヒストリーがはっきりしていること

などの条件を備えている動物が良いとされています。

具体的には、

- ハムスター(ジャンガリアンを除く)
- モルモット
- ウサギ
- ニワトリ
- チャボ

などの動物が適しているとされています。

その理由

◆ 直接触ったり抱けること

直接触ることで、子供さんたちは「かわいい」と感じたり、身近に感じることができます。

抱っこしておとなしくしてくれると、そのことで「慈しみ」の感情につながります。

◆ 触ったり抱いて暖かいと感じられること

触ったり抱いて暖かさを感じることは、「生きていること」を実感させ、その温もりからも「愛おしい」と感じる感情につながります。

◆ 寿命が短すぎたり長すぎないこと

死別を経験することで、生きていることは永遠ではないことを知ることができます。

また、死別の悲しみを経験することが、生きている時の慈しみにつながり、死別の悲しみを乗り越えることが感情的な成長に大きく関わります。

しかしながら、寿命が短すぎると、死ぬことが日常的になり過ぎ、無感情になるといわれています。

◆ 個体識別がしやすいこと

動物たちにも性格が様々です。毛の色が違ったり、模様が違ったりしてそれぞれを区別できると、特定の個体を自分の性格に照らし合わせてみたり、感じていることを想像することで、特別な感情を持つことにつながります。

特別な感情をもって接することで、より密接な関係が継続し、慈しみの感情につながります。

個体ごとに名前を付けることも特別な感情を持つてもらうために必要なことです。



◆ ヒストリーがはっきりしていること

ヒストリーは、経過や経緯を意味します。動物が病原菌や寄生虫に対してクリーンな所で生まれたのか、クリーンになるように適切に治療されているのかの経過や経緯が、はっきりしていることが望ましいでしょう。

ヒストリーは、公衆衛生の観点からも、子供さんの健康を守るためにも大切です。

ウサギをもらってください

宇都宮の小学校と栃木市の小学校で、ウサギが増えすぎて困っています。もらっていただける小学校、先生、ご家庭を募っています。獣医師会事務局までご連絡ください。

